

大学入学資格検定（大検）について【概要】

趣旨

大学入学資格検定（以下「大検」という。）は、高等学校を卒業していないなどのため、大学入学資格のない者に対し、検定を行い、合格者に大学入学資格を付与することを目的とした制度。

この検定の合格者は、国・公・私立のどの大学、短大、専門学校でも受験が可能。

主な経緯等

- 昭和26年度 大学入学資格検定発足(高等教育を受けられない勤労青少年対象等)
- 平成12年度 外国人学校などの卒業生等へも受験資格を拡大
- 平成13年度 試験の実施回数を年2回に拡大

受検資格等

受検資格

大検を受検する年度の終わりまでに満16歳以上になる者

(但し、高等学校の全日制課程等に在学(休学も)している者を除く。)

合格要件

所定の科目の全てについて合格点を得ること。

但し、合格者が満18歳に達していないときには、18歳に達した日の翌日から発効。

受検科目等

1. 受検教科等

合計教科数：7教科（9～10科目）

必修教科6教科（8～9科目）

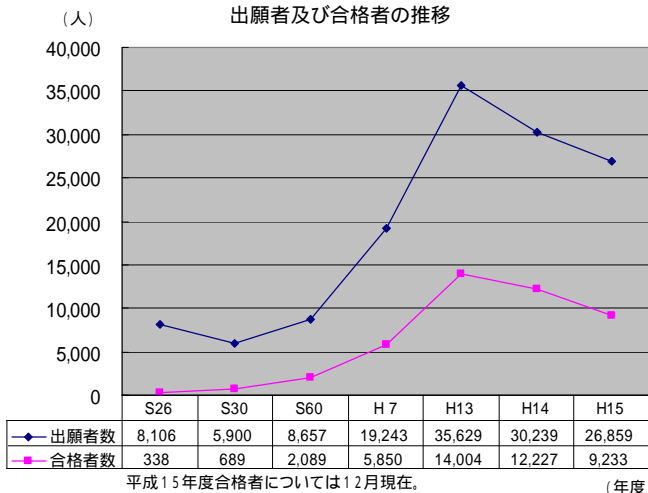
国語、地理歴史(2科目)、公民(1～2科目)、数学、理科(2科目)、家庭
選択教科1教科（1科目）

2. 大検合格の場合の該当単位数は30～45単位。

(参考) 高等学校卒業者の場合、80単位以上(旧指導要領)を修得していることが必要

受検状況等

出願者及び合格者の推移



平成15年度最終学歴別出願者内訳

